

第1学期終業式式辞（令和7年7月18日）

皆さん、おはようございます。既に聞いている人もいますが、今年の運動会、当初9月10日の予定でしたが、9日と10日の二日間で実施します。保護者の方には、後日、改めてお知らせしますが、皆さんからも伝えておいてください。天候により、予定どおりにならないこともあります。熱中症が起これないように、二日間になっても決して間延びしないよう、グループリーダーを中心に時間どおり実施するために、皆さんの自覚と協力が必要です。詳細は、今後、連絡がありますが、二日間実施の趣旨を全員で理解して、東高の運動会を成功に導いてください。よろしくお願いします。

さて、今日で1学期が終わります。4月の始めに、私は、「情熱と実行～高く、広く、そして豊かに～」の精神で、高い目標、広い視野、豊かな心で、「頑張っていきましょうい」の言葉どおり、全員で元気に頑張っていきましょうと伝えました。東高は今、遅刻や欠席が少なく、学習も部活動も学校行事も多少のことではくじけずに頑張っている、悩むこともあるが、仲間や先生方の力を借りて、生徒みんなで乗り越える、そのようになってきていると思っています。

皆さんは、そうやって東高で成長し、大学、社会でも成長を続けていきます。現在の国際情勢や社会には、強い力や武力で、また相手を打ちのめすような言葉で、自分の主張を述べ、思うようにならなければ報復する、という状況がある、その今だから、私は、東高生に、「高い目標や広い視野の前提にあるのは、豊かな人間性だ」と伝えたい。

皆さんは、やがて人や社会を動かし支える人になります。政治や経済、医療や科学や建築、文化やスポーツや教育、多方面から人や社会を動かし支える、そんな高い目標、広い視野を持つ人たちこそ、人間的な豊かさを持ち合わせていてほしい。思いやりや感謝の気持ちを持ち、めったなことでは遅刻や欠席をしない、自分を律することができる。それが、人や社会を動かし支えるには必要だし、自分自身の信頼を得ることにつながります。

1年間坊っちゃん劇場で勤務した高橋祐太先生が、全校集会で「仕事に取り組む姿勢」について話をされました。また、今週、2年の学年集会で、留学生のナパトさんが、日本で学んだことは「時間の大切さ」、時間を守ることは、相手を尊重すること、人に対する優しさや誠実さの表れだと発表してくれました。本当の強さ、本当の賢さは、豊かな人間性があってこそ、なのだと思います。

最後に、茨木のり子さんの詩を紹介します。タイトルは「自分の感受性くらい」。茨木さんは10代で戦争を経験し、平成18年にお亡くなりになりました。戦後80年を迎える節目の夏、この終業式に、私がこの詩を紹介する意図は何か、今日の話とのつながりを考えながら聞いてください。

「自分の感受性くらい」	茨木のり子	
ぱさぱさに乾いてゆく心を	ひとのせいにはするな	みずから水やりを怠っておいて
気難しくなってきたのを	友人のせいにはするな	しなやかさを失ったのはどちらなのか
苛立つのを	近親のせいにはするな	なにもかも下手だったのはわたくし
初心消えかかるのを	暮らしのせいにはするな	そもそもが ひよわな志にすぎなかった
駄目なこと的一切を	時代のせいにはするな	わずかに光る尊厳の放棄
自分の感受性くらい	自分で守れ	ばかものよ 「自分の感受性くらい」

今日、皆さんに配られる「図書館報」にもこの詩を掲載しています。繰り返しになりますが、この詩を紹介した意図を考えてくれたら、うれしく思います。

それでは、皆さんの夏休みが充実したものになるよう祈っています。以上で式辞を終わります。